狛江市公共施設整備計画について

問 ①福祉作業所の統合について、定員増・機能拡充のためにも早期の実現を。②中学校給食の再開に向けて、給食センターの開設を少しでも早く前倒しすることはできないか。

答 ①庁内で、場所の選定を含めて議論している。②平成26年度当初には給食センター建設工事を発注する予定であり、引き続き前倒しへの努力をしていく。

市における「相談」と「見守り」の体制について

問 高齢化率50%を超える地域等特に高齢化率の高い地域の相談・見守りの対応と体制を強化していくため、地域包括支援センターを補完する等の体制整備が必要ではないか。

答 地域包括支援センターの機能強化とともに専門職員を配置した地域の拠点を整備していく。

亀井 和美

がん検診受診率の向上について

問 ①がん検診に対する意識調査の実施。②子宮頸がん・乳がん検診無料クーポンの効果。③受診率向上のため有意義なコール・リコール制度（個別受診勧奨）の認識。

答 ①健康こまえ21の改訂作業の中で考える。②大きな効果があると認識している。③受診率向上につなげている自治体が出ており、市として可能な方法を探っていきたい。

ワンストップサービスの導入こそ、一番の市民サービス

問 ①ワンストップサービスの現状。②ワンストップサービス導入に対する考え。③窓口業務に対するニーズ調査の実施。④市長への手紙の追跡調査の運用ルールの検討と必要性。

答 ①行えている状況にはない。②利便性からは必要性は高いと認識している。③検討してみたい。④今後どのようにしていくか検討していく。

発達障害の早期発見に、5歳児健診の導入を

問 ①5歳児健診に対する認識。②保育園関係者における話し合いは。③これまで導入に向け各部の連携は図られていない。何が一番必要か。④児童発達支援センターの進捗状況。

答 ①必要な支援につなぐものとして必要。②園長などとの話し合いまでに至っていない。③関係部署の垣根を取り払うことが必要。④プロジェクトチームで検討を進めている。

佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

問 ①避難所で要援護者に対応する職員の配置体制は。②二中災害用井戸水が硫黄臭いが大丈夫か。③振り込め詐欺対策用の電話に取りつける振り込め詐欺見張隊等の設置状況は。

答 ①民生委員や地域の協力を検討。②水質検査の結果により対応を検討。③振り込め詐欺見張隊45件、迷惑電話チェッカー5件。

いじめ防止に向けた取り組みについて

問 ①いじめ防止対策推進法を受け市教委の取り組む姿勢は。②高槻市「はにたんの子どもいじめ110番」を視察、メールでの相談のため匿名性もあり相談しやすい、市で検討を。

答 ①法の概要をまとめ学校へ具体的に指示。都や他区市の動向を注視する。②校長会、副校長会、生活指導主任会等と連携し、検討に向けた研究をはじめる。

正木 きよし

狛江市の人権啓発事業について

問 ①過去、現在、今後の事業展開について。②北朝鮮による拉致被害者を救う運動、特定失踪者問題調査会の講演等本来の人権啓発事業にすべきでは。

答 ①小・中学生を対象とした啓発活動や人権週間にあわせたパネル展示など、今後も継続的、効果的な啓発活動を行う。②一人一人が認識を深めることが重要と考える。

成年後見人制度について

問 ①市はどのように取り組んできたか。②市長申し立ての利用状況、今後の課題は。③選挙権の回復状況と課題は。

答 ①市長申し立てを主に行ってきた。②23年度が6件、24年度は3件。市民後見人の育成。③79名の方が選挙権を回復。今後の投票における合理的配慮。

来年度予算編成について

問 ①図書館改修②中学校にタブレット導入③市内共通商品券事業④市内業者優先⑤待機児童解消⑥財政基盤確立の見通しは。

答 ①改修検討委員会で検討②中学校の学習にも適している③新たな方策も含めて検討④主管課における契約等検討⑤認可保育園新設に向け調整中⑥財政規律・基準を念頭に編成。

本紙の内容をCDに録音した「声の市議会だより」をご利用ください

太田 久美子

「都市鉱山」とも呼ばれる資源の有効利用について

問 ①レアメタル回収の進捗状況は。②福祉作業所で試験的に小型家電分解の作業をしてはどうか。③他部署や福祉作業所と連携して実証実験を行うことのメリットと課題は。

答 ①先進市視察を実施、イベント回収と窓口回収を開始。②2箇所の作業所と調整中。③売却効率を上げ作業所の柔軟な運営に寄与。通所者の生きがいに貢献。安定供給が課題。

子どもたちのためにも地球温暖化対策を

問 ①温室効果ガス排出量の新たな目標に対する市の取り組みは。②廃食用油からのバイオディーゼル燃料の活用を検討すべき。③未来の子供たちに対する地球温暖化対策を。

答 ①地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づく取り組み②先進自治体の事例等について研究していく③新技術の推進や次世代を担う子供たちへの環境意識向上等を図る。

安心で安全な給食の提供について

問 ①感染すると重篤になる子供の感染症予防対策は。②国や都の通知をどのように反映したか。③食物アレルギー対応についてホームページ、PTAの会合で周知すべき。

答 ①ワクチン接種記録等を保管し指導、注意喚起。保育園は罹患時に意見書の提出を義務付け。②各学校に周知。病院とホットライン等独自対応。③ホームページ等の活用を検討。

辻村 ともこ

「学校の安全対策」について

問 ①平成25年度市内学校での事故・けが件数は。②いじめ防止対策推進法設置について対応は。③発達障害対応への福祉保健部の考え方と学校との取り組みについて。

答 ①災害共済給付申請件数は小学校77件、中学校80件。②教職員夏季研修、Q—Uを活用した研修等を実施。③縦割りの弊害をなくし事例の共有や会議等の関与が必要。

狛江らしい「図書館」について（パート2）

問 ①活力あるまちづくりに求められる公共施設は、民間活力の導入が必要。検討は。②市民意識調査で図書館に求められているものは。③改革について市長の考えは。

答 ①重点プロジェクトとして位置づけている。②学習室の設置、図書館面積の拡大、蔵書の充実など。③市民目線に立った公共施設の整備を考えている。

山田 たくじ

リビング・イン・プレイス（地域居住）について

問 ①防災・減災に向けた防災センターの位置づけ②社会福祉協議会との連携③地域福祉の充実に向けた行政の課題④福祉教育の現状⑤市は商店の効能をどのように捉えているか。

答 ①災害対策本部設置②協定に実効性を持たせるよう調整する③庁内を横断する組織が必要④UDの学習や講演会等実施⑤地域コミュニティの一翼を担う取り組みも重要な要素。

指定管理者・同制度の運用について

問 ①今後管理者適用施設の見直しを行うつもりはあるか②体育施設の安全確保への配慮、管理者の撤退等に備えは十分か③さらなる効果的・効率的な運営のために必要なことは。

答 ①現段階では具体的なものはない。②継続的にリスク管理を踏まえた検証が必要。③他自治体からの情報収集等、不断の取り組みが重要。